



2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月4日

上場会社名 情報企画

上場取引所 東

コード番号 3712 URL <https://www.jyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 勇佑

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 井口 宗久

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,082	5.3	719	8.0	719	7.7	496	8.2
2019年9月期第3四半期	1,978	4.7	665	10.8	667	11.1	458	11.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	148.15	
2019年9月期第3四半期	136.91	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,429	4,211	77.6
2019年9月期	5,170	3,983	77.0

(参考)自己資本 2020年9月期第3四半期 4,211百万円 2019年9月期 3,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		35.00		40.00	75.00
2020年9月期		40.00			
2020年9月期(予想)				40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	5.3	1,100	7.8	1,100	7.5	750	6.0	223.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	4,090,000 株	2019年9月期	4,090,000 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	740,287 株	2019年9月期	740,146 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	3,349,786 株	2019年9月期3Q	3,349,854 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日の9ヶ月間)におけるわが国経済については、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費や生産は低迷し景気は厳しい状況となっております。当社の主要な販売先である金融機関におきましては、在宅勤務による限られた人員の中で緊急融資・相談等で多忙な状況ですが、システム投資の検討は進めて頂いており、システムによる業務効率化の必要性を再認識して頂いています。

このような環境下にあつて、当社は、テレワークの実施やWEB会議による顧客との打合せを行い開発に支障がない対応をしております。業況につきましては、「システム事業」は、「担保不動産評価管理システム」では大型案件の獲得に成功し、「融資稟議支援システム」も信用金庫中心に多くの受注を獲得し、開発も予定通り進めてきております。システム開発に係る「システムインテグレーション部門」とシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」の当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比増収となり、営業利益は増収に加え、旅費交通費の削減等により前年同期比増益を達成しています。

「不動産賃貸事業」につきましては、2020年1月に新たに賃貸店舗を購入し、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,082,784千円(前年同期比5.3%増)、営業利益は719,007千円(同8.0%増)、経常利益は719,387千円(同7.7%増)、四半期純利益は496,269千円(同8.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は大手金融機関や信用金庫から大型受注を獲得したほか、「融資稟議支援システム」は、業務効率化を推進する中核システムの位置付けで、信用金庫から多くの受注があり、営業活動は順調に進んでいます。さらに両システムとも前年同期比増収となっております。また信用組合のシステム共同センターである信組情報サービス株式会社宛てにマネーロンダリング対策のシステムを販売しましたので、逐次、各信用組合様に導入しております。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は、1,126,556千円(前年同期比6.0%増)、セグメント内の売上高構成比は57.7%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は、システム導入が進み前年同期比増収となり、システムサポート部門の売上高は824,672千円(前年同期比0.7%増)、セグメント内の売上高構成比は42.3%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は1,951,229千円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益は658,539千円(同4.4%増)となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、2020年1月に賃貸店舗1物件を購入し、賃貸マンション3棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗2件の計7物件となり、当第3四半期累計期間の売上高は、賃貸収入131,554千円(前年同期比36.7%増)、セグメント利益は60,467千円(同72.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、5,429,617千円となり、前事業年度末に比べ258,857千円増加いたしました。これは主に新規不動産物件の購入によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、1,218,062千円となり、前事業年度末に比べ30,929千円増加いたしました。これは主に未払金が増加した一方で、未払法人税等が減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、4,211,555千円となり、前事業年度末に比べ227,927千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は77.6%(前事業年度末は77.0%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの影響は大きく、今後、消費や生産の低迷が継続すると予想されます。主要な販売先である金融機関の取り巻く環境も大きな変化が考えられます。

このような状況の中、当社といたしましては、打合せの遅れによる受注や納期の遅延が懸念されますが、テレワーク等の推進により開発は滞りなく進めており、2020年9月期におきましては、公表しています通り、売上高3,000,000千円(前年同期比5.3%増)、営業利益1,100,000千円(同7.8%増)、経常利益1,100,000千円(同7.5%増)、当期純利益750,000千円(同6.0%増)と予想しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,152,359	1,880,733
売掛金	687,607	547,533
仕掛品	42,927	54,967
未収収益	3,339	2,598
その他	10,462	10,059
流動資産合計	2,896,696	2,495,891
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,165,933	1,336,882
減価償却累計額	△246,384	△281,982
建物(純額)	919,549	1,054,900
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△3,003	△3,183
構築物(純額)	1,202	1,022
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△75,054	△75,054
機械及び装置(純額)	0	0
工具、器具及び備品	64,065	68,007
減価償却累計額	△59,304	△61,792
工具、器具及び備品(純額)	4,761	6,214
土地	1,133,696	1,665,888
有形固定資産合計	2,059,209	2,728,025
無形固定資産		
電話加入権	1,116	1,116
ソフトウェア	14,923	16,308
無形固定資産合計	16,039	17,424
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	131,586	119,582
会員権	12,650	12,650
差入保証金	44,577	46,042
投資その他の資産合計	198,814	188,275
固定資産合計	2,274,063	2,933,726
資産合計	5,170,760	5,429,617

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,449	175,443
未払金	85,502	183,306
未払消費税等	30,766	18,829
未払法人税等	198,367	70,905
前受金	16,737	16,296
前受収益	337,887	366,396
賞与引当金	73,550	26,575
製品保証引当金	5,194	1,210
その他	10,008	25,630
流動負債合計	893,464	884,595
固定負債		
役員退職慰労引当金	248,654	260,559
長期預り保証金	45,013	72,906
固定負債合計	293,668	333,466
負債合計	1,187,132	1,218,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,054,102	4,282,387
利益剰余金合計	4,055,919	4,284,203
自己株式	△764,091	△764,448
株主資本合計	3,983,627	4,211,555
純資産合計	3,983,627	4,211,555
負債純資産合計	5,170,760	5,429,617

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,978,242	2,082,784
売上原価	809,123	861,256
売上総利益	1,169,118	1,221,527
販売費及び一般管理費	503,263	502,520
営業利益	665,855	719,007
営業外収益		
受取利息	112	93
未払配当金除斥益	251	119
受取保険金	1,614	—
助成金収入	—	135
その他	33	32
営業外収益合計	2,011	380
経常利益	667,866	719,387
税引前四半期純利益	667,866	719,387
法人税、住民税及び事業税	194,505	211,114
法人税等調整額	14,721	12,004
法人税等合計	209,226	223,118
四半期純利益	458,640	496,269

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響については、当第3四半期累計期間末時点において当社の事業活動に重要な影響を与えていないことから、業績に与える影響は軽微であると仮定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,882,000	96,241	1,978,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,882,000	96,241	1,978,242
セグメント利益	630,699	35,155	665,855

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,951,229	131,554	2,082,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,951,229	131,554	2,082,784
セグメント利益	658,539	60,467	719,007

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期会計期間において、賃貸用不動産を1物件取得しております。

これにより、前事業年度の末日に比べ、当第3四半期会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「不動産賃貸事業」において668,188千円増加しております。